

史料紹介

財団法人賀茂県主同族会蔵

三手文庫蔵書目録

山本宗尚

解題

本文書は、財団法人賀茂県主同族会の所蔵文書（概要と目録は、『みたらしのうたかた』十号、平成二十二年に掲載）の一つで、社家の修学の便を図るために元禄十六年（一七〇二）に設立された三手文庫の蔵書目録である。本目録中「正徳四年改書籍目録」二部二冊のうちの一冊と考えられ（「賀茂三手文庫」蔵書印が付されていることから、原本と見て間違いないであろう）、本書途中に記された奥書によると、当時の三手文庫預であった氏満、清茂、与頸が、正徳四年（一七一四）二月二十四日現在に所蔵されている同文庫の目録を作成したもので、前半部分はその目録が、後半部分には、正徳四年二月以降、明和七年（一七七〇）二月とその後三冊の受入れ分までの書籍類が、その状況（買入、奉納の別と年月日、奉納者や取次者など）とともに時系列順で記されている。

この目録を一覧になるとわかるように、現在三手文庫とほぼ同意に捉えられている今井似閑奉納書籍（現、賀茂別雷神社所蔵）は含まれていないことには注意が必要である。そもそも、正徳四年時点は奉納の前であったこともあるが、今井似閑奉納書籍は所蔵コレクションの扱いで、他の書籍と混合して整理されることはなかった。明治九年に

三手文庫が廃止されるのに伴い、今井似閑奉納書籍は、その性質から賀茂別雷神社に一括して納められたことにより散逸を免れたが、その他の書籍は書林に売却され、管見により現存が確認できるものはわずか数点しか存在しない。このため、今井似閑奉納書籍以外の書籍の動向については、現存する何点かの目録を除いて知る術がない。

本文書は、三手文庫設立当時の所蔵状況と、その後数十年の受け入れ状況も何うことができる好史料である。この書籍に加えて、元禄十六年（一七〇三）に三手のそれぞれの寄合で披露された寄附書籍の目録と目される書籍（筆者が古書店にて発見し、京都産業大学の所蔵となった「賀茂社文書目録」）をはじめ、明和年間時点で今井似閑奉納書籍と三手文庫書籍が混在していたのを整理した際に作成した『三手文庫書籍目録』（源城政好氏により『京都文化の伝播と地域社会』（思文閣出版、平成十八年）に翻刻）等を組み合わせるにより、三手文庫成立の準備から終焉までの所蔵状況の変容がおおよそ理解できるようになることが期待される。この解析結果は、京都産業大学所蔵本の翻刻とともに『京都産業大学日本文化研究紀要』に近く報告する予定である。

本書の体裁と表題は次のとおりである。

〔体裁〕原本 一冊 袋綴 四十二丁内墨付三十二丁、

縦二十七・七種、横二十・〇種
 「表題」三手文庫書籍目録 全

本文

〔表紙〕
 (寶茂三手文庫印) 三手文庫藏書目録 全
 (寶茂三手文庫印) 三手文庫藏書目録
 舊事本記 五冊
 古事記 三冊
 假名日本紀 第二 廿八冊
但神代下卷卅卷之内二卷不足
同九年神代下卷二冊持統卷一冊以類本補之
 三代實錄 廿冊
 已上納一之櫃 有鎖
 舊事本紀 三冊
 古事記 一冊
 續日本紀 廿冊
 同 廿冊
 已上納二之櫃 有鎖
 日本書紀 十五冊
 同 十五冊

釋日本記

續日本後記 十五冊
 已上納三之櫃 有鎖
 中臣祓 納管一冊
 中臣祓集說 一冊
 同 三冊
 中臣考察 一冊
 同 二冊
 中臣祓纂言 二冊
 同 二冊
 中臣祓白雲抄 二冊
 中臣祓抄 二冊
 中臣祓瑞穗抄 二冊
 同 二冊
 六根清淨大祓淺説 一冊
 同集説 一冊
 倭姬世記 一冊

凡例

- 一 文字の摩滅・虫損により判読できないものは、予測できる文字数を□で示した。
- 一 異体字、旧字等ではできるだけ忠実に再現するよう努めたが、一部本字体、新字体に改めたものがある。
- 一 翻刻者の注記は、() で示した。

御鎮座傳記 一名大田命傳 一冊
 古語拾遺 一冊
 神代卷 二冊
 神代口訣 五冊
 同 五冊
 神代合解 四冊
 神武紀集解 二冊
 神風和記 三冊
 神道名目類聚抄 七冊
 神祇服記令 書本 一冊
 已上納四之櫃 有鎖
 令義解 十一冊
 江家次第 但代一六卷欠世上流布之本皆同 十九冊
 公事根源 三冊
 職原抄句解 十一冊
 同大全 十二冊
 已上納五之櫃

四書集註	唐本五冊	綱鑑	唐本九冊	袖珍歌枕	八冊
同	同納帙五冊	廿一史文鈔	同卅冊	見咲百首	一冊
大學集註	十冊	十八史畧	四冊	賀茂歌合	納箱一冊
論語集解	書本一冊	同	七冊	万葉集抄	廿冊
四書序諺解	古註書本四冊	懲忿錄	四冊	倭物語	二冊
四書章圖	唐本廿八冊	已上納八之櫃	唐本五冊	秋の夜の長物語	一冊
聖學史天講意	十二冊	漢玉篇	唐本十四冊	枕草帑	七冊
已上納六之櫃		字彙		徒然草	二冊
春秋胡傳	唐本五冊	神皇正統記	六冊	鐵槌	二冊
易經本義	五冊	本朝年代記	十冊	詞友集	四冊
小學句讀	二冊	本朝改元考	一冊	同續集	五冊
同	四冊	韻鏡秘要抄	一冊	已上納十之櫃	有鎖
小學備考	六冊	百福壽	五冊一冊	延喜式	五十冊
同示蒙句解	六冊	本朝書籍目錄	一冊	右納宮	十一之宮 有鎖
古文孝經	十冊	書籍目錄	一冊	國大曆書寫目	六共
同大義	書本一冊	已上納九之櫃	二冊	親長記	廿五冊
同註解	一冊	古今和歌集	二冊	外筆者目錄一冊勘定目	六(一冊有之)
同大全	一冊	檜山拾葉名所和歌	二冊	右二部納同櫃	十二之宮 有鎖
近思錄	十冊	八雲御抄	七冊	湖月抄	六十冊
同別錄	八冊	山城和歌名所追考	十二冊	右納宮	有鎖 十三之宮
同續錄	一冊	增補百人一首繪抄	二冊	通鑑綱目	百六冊
傳習錄	一冊	頭註密勘	八冊	右納櫃三	十四之箱 有鎖
已上納七之櫃	四冊	草庵和歌集	四冊	新撰姓氏錄	小本一冊
三國志	唐本十冊	續草庵倭歌集	二冊	元々集	鉄入四冊
		類字和歌拔書	四冊	國名風土記	一冊
		菅見集	一冊	善隣國宝記	三冊

聖德太子傳	五冊	性理字義	一冊	朱文公增損鄉約	一冊
神代系圖傳	納箱七冊	文公家禮	四冊	蠡斯草	二冊
賀茂行幸記	一冊	文選	十三冊	名醫方考	六冊
東鑑	廿五冊	蒙求	三冊	新增炮炙全書	二冊
北條盛衰記	一冊	同	三冊	雞經弁正	書本一冊
綱鑑	納三秩廿八冊	唐詩訓解	八冊	食鑑本草	二冊
輟耕錄	十六冊	千家詩	一冊	諸札集	七冊
三略	一冊	草書千家詩	唐本一冊	國朝諫諍錄	二冊
六韜	一冊	千家詩詳解大成	六冊	和漢算法	七冊
孫子	二冊	同諺解大成	四冊	扶桑往生傳	二冊
通書	一冊	唐七才子傳	五冊	世倭品草	三冊
武用記	書本一冊	七才詩集註解	二冊	丙辰紀行道春	一冊
南木武鑑	一冊	冰川詩式	七冊	荔齋吟餘	一冊
武夷九曲小誌	一冊	詩詞雜俎	唐本四冊	睡菴藁	一冊
函國詳通	一冊	孟浩然詩集	一冊	長恨歌	書本一冊
本朝文粹	一冊	高良山師集	二冊	心政經	一冊
同	十五冊	覆瓿集	一冊	梅花心易	一冊
懷風藻	一冊	古文前集白文	書本一冊	黃石公素書	一冊
五經正文	唐本 帙入六冊	同後集白文	書本一冊	大道止觀	一冊
春秋左氏傳	同十五冊	至要集	書本一冊	塵滴問答	一冊
關里誌	十二冊	故事成語考	二冊	殘儀兵的	一冊
列女誌傳	唐本三冊	啓蒙聯句	書本一冊	獨庵獨語	一冊
虛齋蔡先生文集	四冊	助語辭	書本一冊	便蒙鑑略	唐本一冊
五行大義	五冊	本朝孝子傳	三冊	三正俗解	一冊
孔聖全書	二冊	孝經列傳	五冊	龜鶴問答	一冊
大戴禮	二冊	同註解	一冊	水經註抄	一冊

石印	一冊	石印
機	一脚	機
附	二冊	附
正德四年改書籍目錄	二冊	正德四年改書籍目錄
同日錄草案	一冊	同日錄草案
但此目(六)之内未到來之書多有之		
故季輔披露之書籍寄進目錄	一卷	故季輔披露之書籍寄進目錄
野	十九枚	野
同勘定帳	一冊	同勘定帳
同勘定帳	一冊	同勘定帳
同手形	一冊	同手形
書籍講書籍目錄	一冊	書籍講書籍目錄
二手文庫勘定帳	一袋	二手文庫勘定帳
勘定帳	一冊	勘定帳
系函類帛	一冊	系函類帛
同	一冊	同
凡例	一冊	凡例
附		附
同新写	一冊	同新写
賀茂社家系圖	一冊	賀茂社家系圖
三好家譜	一冊	三好家譜
五倫書	一冊	五倫書
國語傳	一冊	國語傳
雜纂	一冊	雜纂
漁樵問答	一冊	漁樵問答
石城遺宝	一冊	石城遺宝

印肉	一器	印肉
文庫鍵	大小三	文庫鍵
書櫃之鍵	拾一外除鍵三	書櫃之鍵
系圖辛櫃并内箱之鍵	二入箱	系圖辛櫃并内箱之鍵
三手勘定古箱	一	三手勘定古箱
琵琶	納宮一面	琵琶
狩衣之明箱	一冊	狩衣之明箱
金銀	若干	金銀
三手日記	一冊	三手日記
右書籍目錄者三手書籍預終日參會に講所文庫藏書現在之分逐一吟味之上取段記如件		右書籍目錄者三手書籍預終日參會に講所文庫藏書現在之分逐一吟味之上取段記如件
正德四年二月廿四日		正德四年二月廿四日
應丁式	書本納箱一冊	應丁式
山城名跡志	納宮廿五冊	山城名跡志
同名勝志	納宮卅冊	同名勝志
和名抄	十冊	和名抄
諸家大系圖	卅冊	諸家大系圖
和漢事始	十三冊	和漢事始
右山城名跡志以下五部正德五年為衆中被調蔵		右山城名跡志以下五部正德五年為衆中被調蔵

靖獻遺言	三冊	靖獻遺言
六韜	朝鮮人筆	六韜
忠孝新説	全一冊	忠孝新説
已上貳部佐々木左近衛門奉納	一冊	已上貳部佐々木左近衛門奉納
享保二年三月	安曇川内記氏凭取次	享保二年三月
幸一流系圖	森神主尚久筆跡也	幸一流系圖
右刑部丞廣幸寄納也	一卷	右刑部丞廣幸寄納也
古今和歌集	小本入宮一冊	古今和歌集
右増澤頼母奉納	享保三年三月四日	右増澤頼母奉納
尺牘雙魚	座田右兵衛季藤取次	尺牘雙魚
右藤木政右衛門直恒奉納	台卷一冊	右藤木政右衛門直恒奉納
享保三戊戌年十一月為衆中取被調納書物		享保三戊戌年十一月為衆中取被調納書物
百首部類	全六十二冊	百首部類
雍州府志	全十冊	雍州府志
異称日本傳	全十五冊	異称日本傳
古今類句	全卅六冊	古今類句
已上		已上
史記評林	全五十冊	史記評林
神代摺傳	全五冊	神代摺傳
右二部享保五年十二月為衆中被調納也		右二部享保五年十二月為衆中被調納也
乾金	百匹	乾金
享保六年五月	取次氏評	享保六年五月
寄進	八幡山松本坊權律師重雅	寄進
日本逸史	前編	日本逸史
本朝畫史	畫印共	本朝畫史
今昔物語	十五冊	今昔物語

太平義臣傳 十五冊
 右享保七年十二月為衆中被調納也
 日本逸史 後編 十冊
 惺窩文集 十冊
 六論衍義 一冊
 同 大意 一冊
 天民遺言 三冊
 右五部享保九年七月為衆中被調納也
 職原鈔辨疑 三冊
 右享保九年七月靈井安左馬奉納 取次清茂
 日本逸史考異 一冊
 八州記 十二冊
 右享保十年十二月為衆中被納也
 扶桑拾葉集 法印夫良威手寫 納櫃 全三十拾五冊
 右吉川式部法印威也奉納
 享保十年九月 取次直方
 故唐律疏議 十六冊
 享保十年於衆中書寫
 玉海御記 八拾一冊
 六拾七冊
 享保十年買得
 玉露叢 廿冊
 享保十三年於衆中書寫
 祖來先生答問書 三冊
 湖亭涉筆 三冊
 享保十三年買得
 大和本草 十冊

享保十四年 買得
 唐六典 十冊
 享保十五年 買得
 普教類方 全部十二冊
 右同年小川太左衛門奉納
 朱子語類 取次直方 全部
 四書大全 全部
 今昔物語後編 十五冊
 右三部享保十九年 買得
 古押譜 七冊
 花押歌 七冊
 續華押歌 七冊
 右三部元文元年 買得
 山槐記 廿四冊
 八冊
 右同年於衆中書寫
 台記 廿一冊
 內八冊別記
 紙綴合式千四百拾葉
 內風付式千六拾葉
 右元文二丁巳年買得
 殿記 後京極權政良經公御記 墨付百五十六葉一冊
 玉藥 光明寺禪關道家公御記 墨付千貳百五十一葉十冊
 右貳部寬保二年壬戌年買得
 詩經名物辨解 四冊

右寬保四甲子年二月買得
 諸家知譜拙記 改正 全部五冊
 增補
 右延享三丙寅年八月 早見小一冊 讀成散次 奉納
 出雲縣和泉太達
 史記評林 全部 二十五
 春日大宮若宮祭禮記 三冊
 右延享四丁卯年二月買得
 宣秀御教書案 墨付百七十二枚二冊
 二葉白紙
 達幸故事抄 八十五枚一冊
 諸次第雜記 第一 八十六枚一冊
 改元部類記 百五十枚五冊
 惺窩雜筆 自筆 十九枚一冊
 君臣小傳 惺窩作 十六枚一冊
 二條家抄 歌書 八枚一冊
 下冷泉家白歌記 九枚一冊
 同假名記 六枚一冊
 立太子次第 元和三 四十枚一冊
 合十部 十五冊
 右延享五年二月買得
 神戶記 五冊
 右寬延三年買得
 本草綱目 卅九冊
 通俗 漢楚軍談 二十冊
 通俗 三國志 五十一冊
 同吳越軍談 十八冊
 右寶曆元年買得

制度通

右宝曆二年七月買得

拾三冊

戰國策

論語義疏

十五冊

十冊

右二部明和六年五月買得

数学夜話

右明和七庚寅年二月 西村遠重奉納

全四冊

取次兼整

日本書紀通證

源平盛衰記

漢書評林

二十三冊

二十五冊

五十冊箱入